

NPO 法人小網代野外活動調整会議は こんな活動をしています。

【保全推進事業】

- ・作業ルートの整備
- ・湿原回復作業
- ・有害外来種除去を含む生物多様性回復作業
- ・アカテガニ・ビオトープの整備
- ・小網代湾岸海浜植生の回復・維持

【学習・ボランティア活動への支援事業】

【トラスト緑地保全支援事業】

- ・干潟を含む生物調査・流路整備等

NPO 法人小網代野外活動調整会議に 資金協力したい方は

- ・当法人への直接のご寄付
郵便振替口座番号：00240-1-95307
- ・かながわトラストの
「トラスト緑地保全支援会員」へのご登録
(問合せ先：045-412-2525 小網代支援とご明示ください)

小網代の森の訪問を希望される方は

- ・<小網代の森利用連絡・調整票>の提出
にご協力をお願いします。
- ・学習・ボランティア活動でのご訪問につき
まはしては、スタッフによる森のご案内も可
能です。(但し寄付またはスタッフ派遣費のご
負担をお願いします。)
- ・くわしくは Web サイトをご参照ください。

小網代の森の整備にご協力ください

2011年1月版



お問合せは

NPO 法人 小網代野外活動調整会議
〒223-0053
横浜市港北区綱島西 2-5-10 コーリン綱島 4F
TEL045-540-8320 FAX045-546-4344

URL=<http://www.koajiro.org/>

小網代の森を環境学習・ボランティア貢献の
場として利用される皆様は、ご連絡・ご相談
くださいますよう、お願いいたします。

保全確定・整備期間は通行自粛を

小網代の森は、神奈川県三浦市にある、約
70ヘクタールの自然集水域(全域が首都圏近
郊緑地保全区域)です。2010年2月、保全に
必要な全ての土地を神奈川県が確保し、今後
しばらくは、湿地の再生などの整備作業が進
みます。その間は、通路安全の確保もむずか
しく、マムシ、スズメバチ等の出現もありま
すので、神奈川県から、一般の通行は自粛を
要請されています。

整備期間中における谷の通行

整備期間中でも、学校等による学習訪問に
ついては、NPO 調整会議がご案内する、簡単
なボランティア作業を伴う方式で、谷の訪問
が可能です。ご相談ください。

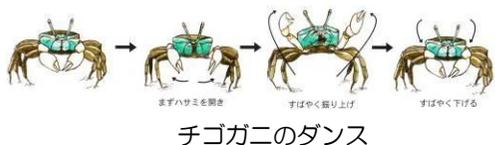
整備期間中、市民団体あるいは個人で谷の
訪問をご希望の場合は、7・8・9月を除く毎
月第3日曜日、午前9:30三崎口駅前集合で、
NPO 調整会議が主催する<学習・ボランティ
アウォーク>にご参加いただくことができ
ます。12:00に現地解散、雨天中止です。

谷の通行にあたっては、湿原保護のため、
ぬかるみは長靴を履き、川沿いのトレイルに
沿って歩いていただきます。

7・8・9月の3ヶ月は、マムシ、スズメバ
チなどの危険も高いので、通路の安全整備を
いたしません。森の通行は自粛していただき
ますようお願いいたします。

干潟で観察する

河口にはアシ原に囲まれた干潟がひろがっています。
この干潟はカニたちの楽園。たくさんの種類のカニがすみ分けをしています。



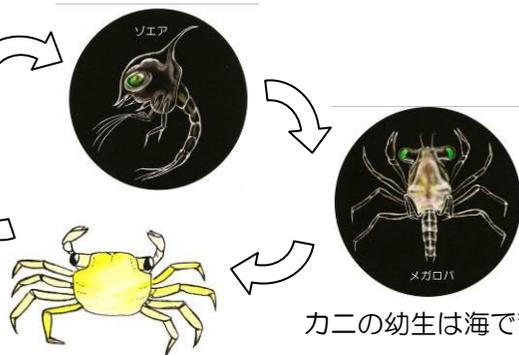
引き潮の時間を確認してから出かけましょう。
アシ原には入らないでください。
干潟を移動するときは濡スジを歩きましょう。
裸足で歩くと危険です。

参考：「小網代の谷のカニ図鑑」
NPO 法人流域自然研究会発行

アカテガニ

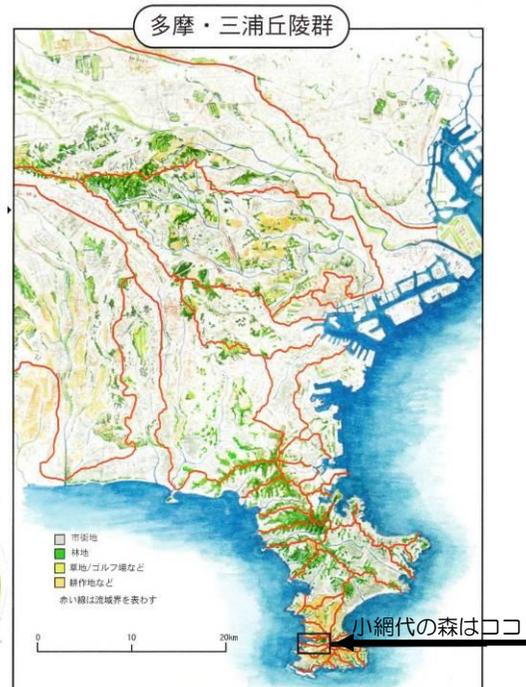
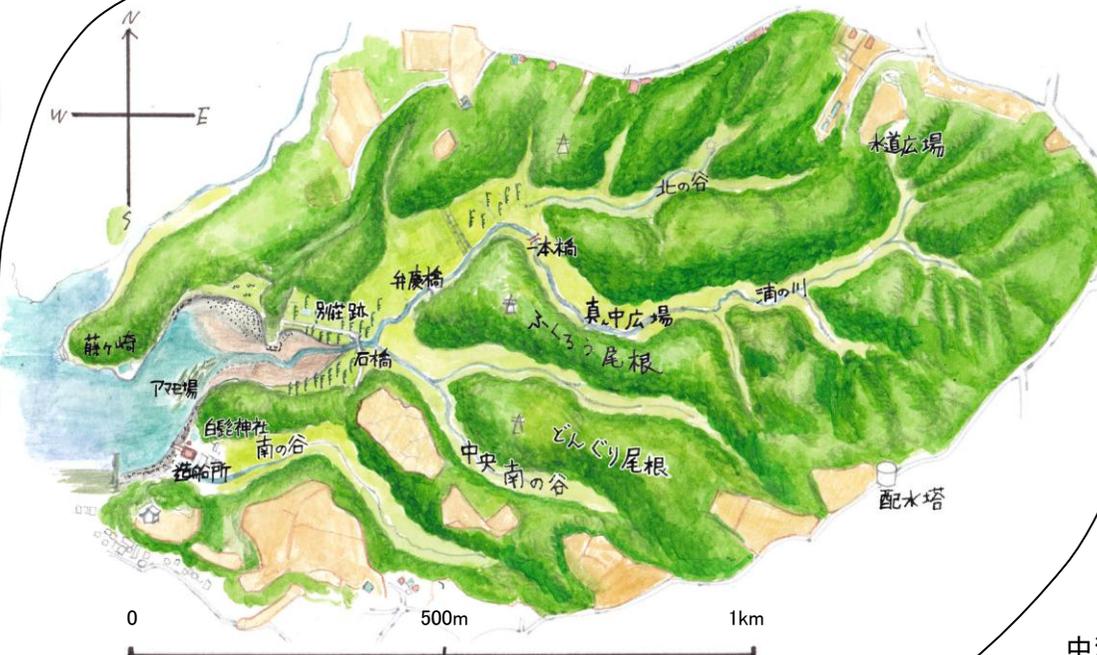


森全体に暮らす、小網代の自然の象徴です。



カニの幼生は海で育ちます。

小網代の森は一番高い尾根でも標高およそ80m、中央の谷を流れる浦の川は約1.2km。森に降った雨は谷に集まり、川となり、河口から海へと注ぎます。人工物で分断されることのない〈完結した自然の流域です〉。



中央の谷を歩く



源流から河口まで季節ごとに違った楽しみが発見できます。
トレイルを広げないように、ぬかるみも長靴を履いて、楽しみましょう。
初夏から秋季はスズメバチやマムシが出現し、藪が深く、危険なため、通行をお控えください。